

企画書)

VR 体験コンテンツの制作について



2021年11月24日

つな chan

1. 現状・課題

大阪広域水道企業団（以下「企業団」）の施設見学や職員へのインタビュー、人事グループへのヒアリング、若手女性技術職員（土木・設備）へのアンケートを実施して情報収集を行い、採用広報における「現状」と「それらに対応する課題」を以下のとおり整理した。

- (1) 就職説明会では、知名度が低いとかなか立ち止まって話を聞いてもらえない。しかし、一度聞いてもらえば、魅力を伝えることができると感じている。（人事 G へのヒアリングより）

⇒知名度を上げるためには、まず、知るためのきっかけ作りが必要である。
また、企業団の名前を大勢の就活生に知ってもらい、興味を持ってもらう仕掛けが必要である。

- (2) 特に技術職員の採用に苦勞している。内定を出しても辞退され、他団体へ採用されてしまうケースが少なくない。（人事 G へのヒアリングより）

⇒企業団の職場での雰囲気や若者でも活躍できるという魅力を知ってもらうことが必要である。
インタビューを通して、どの部署も仕事を 1 人でするのではなく、チームワークやコミュニケーションを大切にしていることが分かった。このような「知られていない良さ」を伝えることが求められる。

- (3) 男性に比べて女性職員の数が少ない。（新卒区分採用 年代別集計表より）

⇒「男性しか活躍できない」というイメージを払拭し、女性・男性関係なく、働きやすい環境であることを知ってもらうことが必要である。福利厚生、産休、育休など実例を挙げながら説明することが求められる。

- (4) 新型コロナウイルスの影響が長引き、対面でのインターンシップが実施できていない。

⇒インターンシップに変わるような職場の雰囲気を知ることができるコンテンツが必要である。雰囲気を知ってもらい、就活生が抱えている公務員のイメージと実際の企業団のギャップを埋めることが求められる。

2. 目指すもの

「1. 現状と課題」を受けて、今回のコンテンツ企画に対し、以下のとおり目標を設定することとした。

- 時間・場所の制約がなく、都合の良い時に気軽に体験できるものにする。
- 企業団に興味はあるが、まだ一歩踏み出せていない人のきっかけにする。
- 女性職員に積極的に登場してもらいつつ、企業団の人間関係に焦点を当て、馴染みやすい職場環境があることを伝える。
- 企業団へさらに興味を持ってもらうことで、今あるコンテンツ（そこんトコどうなん窓口やオンライン説明会など）への導入として活用できるものとする。

3. コンセプト

つながる職員、つながる水道、つながる未来

「つながる職員」…職員同士の仲の良さという意味の縦と横のつながり、相談のしやすさ

「つながる水道」…蛇口から府民に水が届くという水道のつながり

「つながる未来」…水道管は今だけでなく、未来までにも残り暮らしを守り続けるものであること、インタビューでの職員の言葉「後世に残す仕事」を表現

そして、プロジェクト名の“つな chan”という名前の由来にもつながる。

この「つながる職員、つながる水道、つながる未来」というコンセプトを軸に、企業団のつながりを伝えるコンテンツを制作する。

4. ペルソナ設定（ターゲット像の明確化）

客観的視点で企画の検討を行うため、今回のコンテンツのペルソナを以下のとおり設定した。



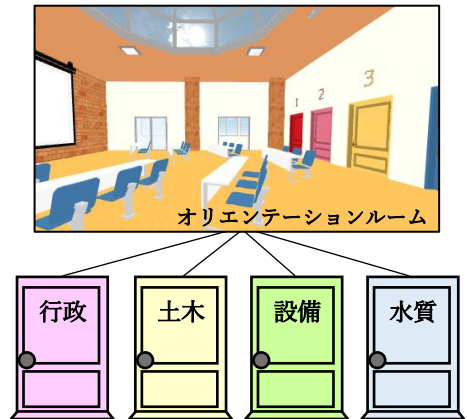
堀田さん
(架空の人物)

性 別	女性
年 齢	21、22 歳（大学 3 回生 就活準備中）
家 族 構 成	4 人家族+犬一匹
居 住 エ リ ア	大阪府内（実家暮らし）
趣 味	映画鑑賞、インドア系、男性アイドル好き
特 技	料理
休日の過ごし方	のんびり過ごす
情報拠点(SNS)	LINE、Instagram
好きなアニメ	全人類が石化して数千年がたった地球を舞台にした化学系某アニメ
性 格	のんびり、真面目、芯がある、自分の意思を伝えることができる、好奇心旺盛
就 活 状 況	公務員志望 長期インターンの情報収集中
就職先を選ぶ基準	福利厚生、人間関係
企業団との関係	少し興味があり、採用のウェブページは見たことがあるが、説明会には参加したことがない

5. VR 体験コンテンツの内容

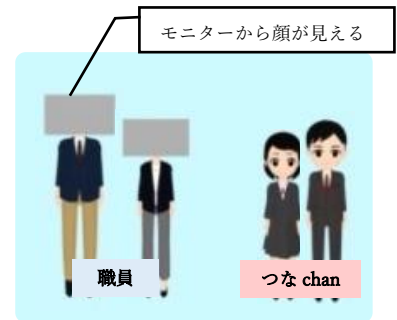
【構造】

- ① 特設ページから VR コンテンツの入口を押すと、オリエンテーションルーム（360 度空間）が起動する
- ② オリエンテーションルームには4つのドアがあり、クリックすると別の部屋へ移動できる
- ③ オリエンテーションルームで4部屋（職種毎に用意したもの）の説明を受け、視聴者は自分で見たい部屋を選択する
- ④ 各部屋では、職員とつな chan がアバターで登場し、インタビューが行われている
- ⑤ インタビューは録画なので、すべての部屋を何度でも視聴可能



【インタビューのスタイル】

- ① 各部屋（職種）、職員 2 人（30～40 代の方 1 人、20 代の方）に対し、つな chan 2 人がインタビュー
⇒職員が緊張しないよう、2 対 2 の座談会形式でリラックスした雰囲気を引き出す。
- ② 職員はモニターから顔が見えるようにし、つな chan はアニメアイコンを設定
⇒職員は顔を見せ安心感を与える。反対に、つな chan をアニメアイコンにし、個性を排除することで視聴者が感情移入しやすくする。
- ③ 質問は、事前に用意したものにアドリブも取り入れる
⇒事前に用意した質問だけだとお互い棒読みになってしまう恐れがあるので、日常の雰囲気を伝えるためにアドリブで自然な受け答えを引き出す。全職種固定の質問と各職種に特化した質問を用意。最終的に編集し、10 分程度の動画に仕上げる。



【各部屋の背景イメージ（案）】

各部屋の背景は 360 度写真を使用し、その場に入り込んだような臨場感を演出する。

部屋（職種）	背景イメージ（案）
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・本部のオフィスの写真を使用 日常をそのまま ・工作中的職員も映す
土木	<ul style="list-style-type: none"> ・立坑の中の写真を使用 ・トンネルの中にあるトロッコもうつす
設備	<ul style="list-style-type: none"> ・浄水場の真ん中の写真を使用 ・視聴者に池の上も歩き回ってもらう
水質	<ul style="list-style-type: none"> ・試験室の写真を使用 ・試験している人に映ってもらう

※背景イメージは、出演者と打合せの上、最終決定

6. 制作スケジュール

